

Wyse Converter for PCs

バージョン 1.0.1 管理者ガイド



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 年 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

1 Wyse Converter for PCs の概要	4
サポートマトリックス.....	4
2 インストール方法	5
サイレントインストール用のパラメータ.....	5
Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件.....	6
サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール.....	6
ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール.....	7
3 アップグレード方法	9
SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード.....	9
ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード.....	10
4 操作を始める	11
Wyse Software Thin Client にログインする.....	11
Wyse Software Thin Client を設定する前に.....	11
統合書き込みフィルター.....	12
NetXClean ユーティリティ.....	14
C-A-D ツール.....	15
Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録.....	15
5 Wyse Software Thin Client の設定	18
VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続.....	18
Citrix Receiver セッションサービスの設定.....	19
リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定.....	20
Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定.....	20
RAM ディスクのサイズの設定.....	21
6 Wyse Converter for PCs ライセンス	22
Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード.....	22
7 アンインストール方法	24
Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする.....	24
サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	24
Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	25
Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする.....	25
8 Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング	27

Wyse Converter for PCs の概要

Wyse Converter for PCs は、Windows PC で Thin Client のようなエクスペリエンスを実現するスタンドアロンソフトウェアです。Wyse Converter for PCs は、VDI セッションに接続するために安全でシームレスなインタフェースを提供します。

Wyse Converter for PCs をインストールした後で、デバイスは Wyse Software Thin Client とみなされます。Wyse Management Suite 1.1 以降のバージョンを使用して、デバイスを管理することができます。

Wyse Converter for PCs は、ハードウェア上の既存の Windows オペレーティングシステムを利用します。カスタマイズは行いますが、オペレーティングシステムを置き換えることはありません。より安全なユーザーエクスペリエンスを実現するため、既存の Windows オペレーティングシステムのロックダウンのみを行います。

① **メモ:** システム上の既存の Start (スタート) メニューのショートカットとデスクトップショートカットがインストール中に削除されますが、アンインストール後にショートカットを復元できます。

サポートマトリックス

Wyse Converter for PCs は、次のオペレーティングシステムでサポートされます。

表 1. サポートマトリックス

サポートされているオペレーティングシステム	対応言語
<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット、サービスパック 1 以降 Microsoft Windows 10 Enterprise、64 ビット 	<ul style="list-style-type: none"> 英語 ドイツ語 フランス語 (フランス) フランス語 (カナダ) イタリア語 スペイン語 日本語 韓国語 中国語 (簡体字) 中国語 (繁体字) ブラジリアンポルトガル語

インストール方法

次のいずれかの方法を使用して Wyse Converter for PCs をインストールできます。

- Microsoft System Center Configuration Manager などのサードパーティの管理ソフトウェアからのリモートまたはサイレントインストール - 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)」を参照してください。
- お使いの PC 上へのローカルインストール - 「[ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)」を参照してください。

Wyse Converter for PCs インストーラによって次の変更が適用されます。

- WyseAdmin と WyseUser の 2 つの新しいユーザーアカウントが作成され、既存の非管理者アカウントが無効化されます。
- NetXClean ユーティリティがインストールされ、ローカルストレージから不要な情報が取り除かれます。
- ユーザーでのコントロール設定機能が制限されます。
- Wyse Management Suite を使用して Wyse Software Thin Client を管理するように Wyse Device Agent がインストールされます。
- インストーラによって PC にインストールできるアプリケーションは次のとおりです。
 - Wyse Device Agent バージョン 14.0.0.237
 - Citrix Receiver バージョン 14.8.0.1010
 - Citrix HDX RealTime Media Engine バージョン 2.2.0.837
 - VMware Horizon Client バージョン 4.3.0
 - TightVNC バージョン 2.6.4
- Dell Thin Client アプリケーション、CAD マップツール、および RAMDisk アプリケーションがインストールされます。
- Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムが実行されているシステムでは、Wyse Converter for PCs のインストールによって統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) がインストールされます。
- Dell Thin Client には、壁紙、デスクトップのテーマ、ユーザーアカウントの Dell ロゴなどのカスタマイズが追加されます。

① メモ:

- 管理者アカウントとローカル管理者グループの一部であるユーザーアカウントは Wyse Converter for PCs によって無効化されません。
- Wyse Converter for PCs によってインストールされたアプリケーションのいずれかをアップデートする場合、Wyse Converter for PCs のアンインストール時にこれらのアプリケーションはアンインストールされません。
- Citrix Receiver、Citrix HDX RealTime Media Engine、VMware Horizon Client、TightVNC などのサポートされているアプリケーションは、任意のバージョンのアプリケーションがすでに PC にインストールされている場合はダウンロード、導入、またはアップグレードされません。

トピック :

- [サイレントインストール用のパラメータ](#)
- [Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件](#)
- [サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)
- [ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)

サイレントインストール用のパラメータ

次の表では、サイレントインストールのために使用するパラメータについて説明しています。

表 2. サイレントインストール用のパラメータ

名前	構文	説明
install	/install	ユーザーインターフェースおよびプロンプトを表示せずにインストーラを実行します。
adminpassword	/adminpassword:	管理者アカウントのパスワードを設定します。
userpassword	/userpassword:	ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
app	/app:	指定したアプリケーションをインストールします。
citrix	citrixrvr	お使いのシステムに Citrix Receiver をインストールします。
citrixhdx	citrixhdxrtme	お使いのシステムに Citrix HDX RealTime Media Engine をインストールします。
vmware	vmware	お使いのシステムに VMware Horizon Client をインストールします。
tightvnc	tightvnc	お使いのシステムに TightVNC をインストールします。

Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件

Wyse Converter for PCs をインストールするための前提条件は次のとおりです。

- Windows QFE およびドライバが最新バージョンにアップデートされている。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされている。
- 既存のユーザー名が WyseUser または WyseAdmin ではない。
- 少なくとも 2 GB のディスク容量が利用可能である。
- 統合書き込みフィルターが無効になっている - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当。
- アンチウイルスを無効にする。
- Windows セキュアブートを無効にする - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当。

① | **メモ:** Wyse Converter for PCs は仮想マシン上にインストールすることはできません。

サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのサードパーティの管理ソフトウェアを使用して同時に複数のデバイスに Wyse Converter for PCs をインストールできます。

SCCM を使用して Wyse Converter for PCs をサイレントインストールする場合は、次の手順を実行します。

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 **Software Library (ソフトウェアライブラリ) > Overview (概要) > Application Management (アプリケーション管理) > Applications (アプリケーション)** の順に移動します。
- 3 **Applications (アプリケーション)** を右クリックして、**Create Application (アプリケーションの作成)** をクリックします。

- Create Application Wizard** (アプリケーションの作成ウィザード) ウィンドウが表示されます。
- 4 **General** (全般) ページで、**Manually specify the application information** (アプリケーションの情報を手動で指定する) をクリックします。
 - 5 **Next** (次へ) をクリックします。
 - 6 **General Information** (一般情報) ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**Next** (次へ) をクリックします。
 - 7 **Application Catalog** (アプリケーションカタログ) ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
 - 8 **Deployment Types** (展開の種類) ページで、**Add** (追加) をクリックして、展開の種類を作成します。
Create Deployment Type Wizard (展開の種類の作成ウィザード) ウィンドウが表示されます。
 - 9 **General** (全般) ページで、**Manually specify the deployment type information** (展開の種類の情報を手動で指定する) をクリックします。
 - 10 **Next** (次へ) をクリックします。
 - 11 **General Information** (一般情報) ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**Next** (次へ) をクリックします。
 - 12 **Content** (コンテンツ) ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
 - 13 **Installation program** (インストールプログラム) フィールドにパラメータ `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword: /userpassword: /app:` を入力し、管理者パスワード、ユーザーパスワード、およびインストールするアプリケーションを指定します。
例: `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword:DellCCCvdi /userpassword:DellCCCvdi /app:citrixrxvr:citrixhdxrtme:vmware:tightvnc`
- パラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。
- 14 **Detection Method** (検出方法) ページで、**Setting Type** (設定の種類) を **File System** (ファイルシステム) として選択し、**Path** (パス) フィールドに `%Windir%\Setup\Logs` と入力します。
 - 15 種類を指定し、ファイルまたはフォルダ名を `InstallWyseConverter.log` と入力し、**OK** をクリックします。
 - 16 **Next** (次へ) をクリックします。
 - 17 **User Experience** (ユーザーエクスペリエンス) ページで、**Installation behavior** (インストールの動作) ドロップダウンリストから **Install for system if resource is device; otherwise install for user** (リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする) を選択します。
 - 18 **Logon requirement** (必要なログオン状態) ドロップダウンリストから、**Whether or not a user is logged on** (ユーザーのログオン状態に関係なし) を選択します。
 - 19 **Installation program visibility** (インストールプログラムの表示) ドロップダウンリストから、**Hidden** (非表示) を選択します。
 - 20 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**Next** (次へ) をクリックします。
 - 21 **Requirements** (要件) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
 - 22 **Dependencies** (依存関係) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
 - 23 **Summary** (概要) ページには、設定の概要が表示されます。
 - 24 **Close** (閉じる) をクリックします。
 - 25 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「*Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager*」(Configuration Manager でのコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。
 - 26 ターゲットクライアントにアプリケーションを展開します。アプリケーションを展開するには、technet.microsoft.com の「*How to Deploy Applications in Configuration Manager*」(Configuration Manager でアプリケーションを展開する方法) を参照してください。

ローカルデバイス上のインストーラを使用した Wyse Converter for PCs のインストール

このタスクについて

ローカルデバイス上でサイレントインストールを実行するには、管理者としてログインし、コマンドプロンプトを実行して、`WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword: /userpassword: /app:` と入力します。

例: `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword:DellCCCvdi /userpassword:DellCCCvdi /app:citrixrxvr:citrixhdxrtme:vmware:tightvnc`

サイレントパラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。

手順

- 1 インストーラパッケージをダブルクリックします。
User Account Control (ユーザーアカウント制御) ウィンドウが表示されます。
- 2 **Yes** (はい) をクリックします。
インストーラは、インストールの前提要件を検証します。
- 3 インストールの前提要件が満たされている場合は、**OK** をクリックします。
Welcome (ようこそ) 画面が表示されます。
- 4 **Dell End User License Agreement** (Dell エンドユーザーライセンス契約) を読み、**Next** (次へ) をクリックします。
① | メモ: Dell エンドユーザーライセンス契約を表示するには、PDF 用のリーダーが必要です。
- 5 インストールする **Setup Type** (セットアップタイプ) を選択し、**Next** (次へ) をクリックします。利用できるオプションは次のとおりです。
 - **Typical** (標準): セットアップタイプに **Typical** (標準) を選択した場合は、**Typical installation** (標準インストール) 画面が表示されます。画面には、Wyse Converter for PCs インストーラによってインストールされるプログラム機能が一覧表示されます。
① | メモ: 標準インストールでは、最小限のユーザー操作が必要で、すべての標準的なプログラム機能がインストールされます。
 - **Custom** (カスタム): セットアップタイプに **Custom** (カスタム) を選択した場合は、**Custom installation** (カスタムインストール) 画面が表示され、お使いのシステムにインストールする次のアプリケーションのいずれかを選択できます。
 - Wyse Device Agent
 - Citrix Receiver
 - Citrix HDX RealTime Media Engine
 - VMware Horizon Client
 - TightVNC
- 6 **Next** (次へ) をクリックします。
Add user accounts (ユーザーアカウントの追加) 画面が表示されます。
- 7 管理者のデフォルトパスワードおよびユーザーアカウントを変更する場合は、**Use default password** (デフォルトのパスワードを使用) チェックボックスをクリアします。
デフォルトの管理者およびユーザーパスワードは DellCCCvdi です。
① | メモ:
 - デフォルトの管理者ユーザー名と標準のユーザー名を変更することはできません。
 - デフォルトのパスワードは、ターゲットデバイスがドメインに属している場合には適用されないため、パスワードの複雑さが有効になります。
 - パスワードに \ / ' ` ~ : ; * ? " & ^ などの特殊文字が含まれていないことを確認します。
- 8 **Next** (次へ) をクリックして、ソフトウェアをインストールします。
インストールの進行状況とともに **Install** (インストール) 画面が表示されます。
- 9 インストールが完了したら、**Restart Now** (今すぐ再起動) をクリックします。
システムが再起動し、WyseAdmin アカウントに自動的にログインします。

インストーラにより、WyseAdmin と WyseUser アカウントのロックダウンのスクリプトが実行され、WyseUser アカウントに自動的にログインします。

インストーラがインストールを完了するには、約 25 分かかります。

- ① | メモ:**
- Windows 10 Enterprise デバイスにインストールした後で、書き込みフィルターはデフォルトで有効になります。
 - インストールを完了するために、システムは 2 回再起動し、WyseUser アカウントに自動的にログインします。

アップグレード方法

Wyse Converter for PCs のアップグレードは、次のいずれかの方法で行います。

- SCCM を使用したリモートアップグレード - 「[SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)」を参照してください。
- お使いの PC でのローカルアップグレード - 「[ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)」を参照してください。

① **メモ:** Wyse Management Suite バージョン 1.1 を使用した Wyse Converter for PCs バージョン 1.0 から 1.0.1 へのアップグレードはサポートされていません。Wyse Converter for PCs をアップグレードする場合は、SCCM を使用してリモートからアップグレードを実行するか、ローカルでアップグレードを実行することをお勧めします。

トピック :

- [SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)
- [ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード](#)

SCCM を使用した Wyse Converter for PCs のアップグレード

前提条件

- Wyse Converter for PCs 1.0 がインストールされている。
- Wyse Converter for PCs の以前のバージョンを、SCCM を使用してインストールしている。
- 管理者としてログインしている。
- Windows QFE とドライバの最新バージョンがインストールされている。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされている。
- 統合書き込みフィルターが無効になっている - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当。
- 既存のユーザー名が WyseUser または WyseAdmin ではない。
- 少なくとも 2 GB のディスク容量が利用可能である。
- アンチウイルスを無効にする。
- Windows セキュアブートを無効にする - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当。

手順

- 1 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)」に記載されている手順 1 ~ 24 に従います。
- 2 **Software Library (ソフトウェアライブラリ) > Overview (概要) > Application Management (アプリケーション管理) > Applications (アプリケーション)** の順に移動します。
- 3 アップグレードするアプリケーション (<アプリケーション名>) を選択します。
- 4 **Home (ホーム) タブの Properties (プロパティ) タブで、Properties (プロパティ) をクリックします。**
<アプリケーション名> **Properties (<アプリケーション名> のプロパティ)** ダイアログボックスが表示されます。
- 5 **Supersedence (優先) タブで Add (追加) をクリックします。**
- 6 **Specify Supersedence Relationship (優先関係を指定) ダイアログボックスで、Browse (参照) をクリックします。**
- 7 **Choose Application (アプリケーションを選択) ダイアログボックスで <アプリケーション名> を選択して、OK をクリックします。**
- 8 **Specify Supersedence Relationship (優先関係を指定) ダイアログボックスで、Wyse Converter for PCs の展開タイプと置き換える展開タイプを選択します。**

- 9 **OK** をクリックして、**Specify Supersedence Relationship** (優先関係を指定) ダイアログボックスを閉じます。
- 10 **OK** をクリックして、**<アプリケーション名> Properties** (<アプリケーション名> のプロパティ) ダイアログボックスを閉じます。
- 11 ターゲットクライアントにアプリケーションを展開します。アプリケーションを展開するには、technet.microsoft.com の「How to Deploy Applications in Configuration Manager」(Configuration Manager でアプリケーションを展開する方法) を参照してください。

① **メモ:** アプリケーションを展開する前に、**Restart** コマンドを送信する必要があります (Windows 7 オペレーティングシステムのみ)。

ローカルデバイスでの Wyse Converter for PCs のアップグレード

前提条件

- Wyse Converter for PCs 1.0 がインストールされている。
- 管理者としてログインしている。
- Windows QFE とドライバの最新バージョンがインストールされている。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされている。
- 既存のユーザー名が WyseUser または WyseAdmin ではない。
- 少なくとも 2 GB のディスク容量が利用可能である。
- 統合書き込みフィルターが無効になっている - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみに該当。
- アンチウイルスを無効にする。
- Windows セキュアブートを無効にする - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみに該当。

① **メモ:** 仮想マシンで、Wyse Converter for PCs のインストールやアップグレードを行うことはできません。

手順

- 1 **WyseConverterforPCs.exe** インストーラパッケージをダブルクリックします。
- 2 **User Account Control** (ユーザーアカウント制御) ウィンドウが表示されます。
- 3 **Yes** (はい) をクリックします。
インストーラは、インストールの前提要件を検証します。
- 4 インストールの前提要件が満たされている場合は、**NEXT** (次へ) をクリックします。
Welcome (よこそ) 画面が表示されます。
- 5 Wyse Converter for PCs をアップグレードするには、**Dell End User License Agreement** (Dell エンドユーザーライセンス契約) を読み、**NEXT** (次へ) をクリックします。
- 6 インストールが完了したら、**Restart Now** (今すぐ再起動) をクリックします。

操作を始める

WyseUser または WyseAdmin として Wyse Software Thin Client にログインできます。

Wyse Software Thin Client を使用して操作を始めるには、以下を参照してください。

- Wyse Software Thin Client にログインする - 「[Wyse Software Thin Client にログインする](#)」を参照してください。
- Wyse Software Thin Client を設定する前に - 「[Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)」を参照してください。

トピック：

- [Wyse Software Thin Client にログインする](#)
- [Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)

Wyse Software Thin Client にログインする

Wyse Software Thin Client がオンになっているか再起動されたときに表示される内容は、管理者の設定により異なります。ユーザーアカウントの作成後、管理者は、自動的にログインできるように、またはユーザー資格情報を使用して手動でログインできるようにアカウントを設定できます。

Wyse Software Thin Client を起動すると、デフォルトで WyseUser デスクトップに自動的にログインします。

Windows 10 デバイスに別のユーザーまたは管理者としてログインするには、次の手順を実行します。

- 1 **Start (スタート) メニュー > User (ユーザー) > Sign Out (サインアウト)** の順にクリックして、現在のデスクトップからログオフします。
- 2 ロック画面の任意の場所をクリックすると、**logon (ログオン)** ウィンドウが表示されます。
- 3 画面の左下には、ユーザーアカウントのリストを表示できます。希望のユーザーアカウントをクリックして、ログオン資格情報を入力します。
 - **管理者** - デフォルトのユーザー名は **WyseAdmin** であり、デフォルトのパスワード (大文字 / 小文字は区別されます) は **DellCCCvdi** です。
 - **ユーザー** - デフォルトのユーザー名は **WyseUser** であり、デフォルトのパスワード (大文字 / 小文字は区別されます) は **DellCCCvdi** です。

自動ログインが有効になっていない場合は、Wyse Software Thin Client の起動時にログイン ウィンドウが表示されます。手順 2 および 手順 3 で述べられているオプションを使用してログインできます。

Windows 7 デバイスに別のユーザーまたは管理者としてログインするには、次の手順を実行します。

- 1 **Start (スタート) メニュー > Log off (ログオフ)** の順にクリックして、ログイン ウィンドウが表示されるまで、Shift キーを押しながら現在のデスクトップからログオフします。
- 2 次のオプションのいずれかを使用してログインします。
 - **管理者** - デフォルトのユーザー名は **WyseAdmin** であり、デフォルトのパスワード (大文字 / 小文字は区別されます) は **DellCCCvdi** です。
 - **ユーザー** - デフォルトのユーザー名は **WyseUser** であり、デフォルトのパスワード (大文字 / 小文字は区別されます) は **DellCCCvdi** です。

自動ログインが有効になっていない場合は、Wyse Software Thin Client の起動時にログイン ウィンドウが表示されます。手順 2 で述べられているオプションを使用してログインできます。

Wyse Software Thin Client を設定する前に

統合書き込みフィルターユーティリティは Wyse Software Thin Client を保護することを意図しています。プリンター、モニター、その他の周辺機器などの特定のプロファイル設定を保持する場合は、明示的に宣言したプロファイルを消去しないように NetXClean を設定する必要があります。また、ディスクへ

の望ましくない書き込みを防止し、不要な情報をクリーンアップしてローカルディスクに格納されないようにもします。C-A-D ツールを使用すると、管理者は、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del 画面を表示するようにマッピングできます。C-A-D ツールが有効になっている場合、すべての VDI アプリケーションに Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを使用できます。

Wyse Management Suite では、Wyse Software Thin Client を集中的に設定、監視、管理、および最適化することができます。Wyse Software Thin Client をリモートで管理するには、デバイスを Wyse Management Suite に登録する必要があります。

ただし、Wyse Software Thin Client をログアウトして再起動した後で、変更した設定を管理者が保持することができるインスタンスがあります。

Wyse Software Thin Client を設定する前に、以下を参照してください。

- [統合書き込みフィルターの使用](#)
- [NetXClean ユーティリティについて](#)
- [C-A-D ツールの理解](#)
- [Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録](#)

統合書き込みフィルター

統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) は、Windows 10 Enterprise デバイス上のストレージメディアを保護するセクタベースの書き込みフィルターです。UWF は、保護対象ボリュームへの書き込み試行をすべて傍受し、それらを仮想オーバーレイにリダイレクトします。これにより、デバイスの信頼性と安定性が向上し、さらにシステムに対する未承認の変更が破棄されるためシステムのセキュリティが向上します。UWF では、オーバーレイは、基盤となる保護対象ボリュームに加えた変更を保存する仮想ストレージ領域です。ファイルシステムが保護対象セクタを変更しようと試みる場合は必ず、代わりに UWF が保護対象ボリュームのセクタをオーバーレイにコピーして、セクタの代わりにオーバーレイを変更します。アプリケーションがセクタからの読み取りを試行すると、UWF はセクタの代わりにオーバーレイのデータを返します。そのため、ボリュームは変更されないまま、システムはボリュームに書き込むという動作を見た目上維持できます。

△ 注意: 常に適切な書き込みフィルターを使用し、Windows ページファイルの使用法の指示に従ってください。当該の指示にはたとえば、通常の使用時には必ず書き込みフィルターを有効にしておき、イメージのアップグレード、セキュリティパッチの適用、レジストリの変更、アプリケーションのインストールが必要な場合にのみ、管理者が一時的にフィルターを無効にする、などの指示が含まれています。こうしたタスクが完了したら直ちに、書き込みフィルターを再度有効にする必要があります。デルは、これらの指示に従わなかったために適切に動作しなくなった、いかなるシンクライアントデバイスまたはコンポーネントに対しても、保証、サポート、修理、または交換の責任を負いません。

詳細については、technet.microsoft.com で統合書き込みフィルターのマニュアルを参照してください。

統合書き込みフィルターの使用

このタスクについて

UWF を使用するように Wyse Software Thin Client を設定するには、次の操作を行います。

手順

- 1 WyseAdmin としてログインします。
ユーザーのデスクトップへの自動ログオンが有効になっている場合は、ユーザーのデスクトップからログオフして、管理者としてログインします。
- 2 統合書き込みフィルターを無効にするには、デスクトップの **Dell Wyse WF Disable** (Dell Wyse WF 無効) アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルターを無効にしてシステムを再起動します。
- 3 Wyse Software Thin Client を要件に応じて設定します。
- 4 Wyse Software Thin Client の設定後、統合書き込みフィルターを有効にするには、デスクトップの **Dell Wyse WF Enable** (Dell Wyse WF 有効) アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルターを有効にしてシステムを再起動します。これで、Wyse Software Thin Client 上の設定が保存され、Thin Client の再起動後も維持されるようになります。

次の手順

システムが起動した後、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) が自動的に起動します。

保護されているボリューム上の特定のファイルまたはフォルダをファイル除外リストに追加して、これらのファイルおよびフォルダが Dell Wyse Unified Write Control ツールを使用して UWF によってフィルターされないようにすることができます。このツールにアクセスするには、システムトレイの統合書き込みフィルターアイコンをクリックします。ファイルまたはフォルダがボリュームの除外リストにある場合、そのファイルやフォルダへのすべての書き込みが UWF フィルタリングをバイパスし、保護されたボリュームに直接書き込まれ、デバイスの再起動後も維持されます。

実行時にファイルまたはフォルダの除外を追加または削除するには、管理者としてログインする必要があります。また、新しい除外が有効になるようにデバイスを再起動する必要があります。

書き込みフィルターコントロールの設定

UWF コントロールの設定を表示および管理するには、**Unified Write Filter Control** (統合書き込みフィルターコントロール) ダイアログボックスを使用します。ダイアログボックスを開くには、管理者タスクバーのタスクトレイにある UWF アイコンをダブルクリックします。

UWF コントロール設定時には、一部のフィールドが使用不可になっています。設定中に使用可能なフィールドのリストから選択することができます。

Dell Wyse Unified Write Filter Control (統合書き込みフィルターコントロール) ダイアログボックスには以下が含まれます。

• UWF status (UWF ステータス)

- **Current Status** (現在のステータス) - 統合書き込みフィルターのステータスを示します。ステータスは、有効または無効のいずれかです。
- **Boot Command** (起動コマンド) - 起動コマンドのステータスを示します。UWF_ENABLE は UWF が次のセッションでは有効になっていることを意味し、UWF_DISABLE は次のセッションでは UWF が無効になっていることを意味します。
- **RAM used by UWF** (UWF によって使用される RAM) - メガバイト (MB) と割合で、統合書き込みフィルターに割り当てられている RAM の量を示します。**Current Status** (現在のステータス) が無効になっている場合、UWF に割り当てられる RAM は常にゼロ (0) です。
- **Amount of RAM used for UWF Cache** (UWF キャッシュに使用される RAM の量) - 現在のセッションで統合書き込みフィルターキャッシュに割り当てられている RAM の量をメガバイト (MB) で示します。
- **Warning #1 (%)** (警告 #1 (%)) - 現在のセッションでメモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。
- **Warning #2 (%)** (警告 #2 (%)) - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。

• UWF Cache settings (UWF キャッシュ設定)

- **Amount of RAM to be used for UWF Cache** (UWF キャッシュに使用される RAM の量) - 次のセッションで統合書き込みフィルターキャッシュとして使用される RAM の量を MB で示します。この値は 256 MB ~ 2048 MB の範囲内である必要があります。この値が使用可能な RAM の 50 % を超えていないことを、必要以上に確認されます。

• UWF Warning settings (UWF 警告設定)

- **Warning #1 (%)** (警告 #1 (%)) - メモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています (デフォルト値 = 80、最小値 = 50、最大値 = 80)。
- **Warning #2 (%)** (警告 #2 (%)) - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。メモリのレベルが警告レベル 2 を超えると、システムが自動的に再起動します (デフォルト値 = 90、最小値 = 55、最大値 = 90)。

• **Enable UWF** (UWF を有効にする) - 統合書き込みフィルターを有効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスを再起動するように要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。統合書き込みフィルターを有効にするためにシステムが再起動した後、デスクトップの統合書き込みフィルターのステータスアイコンが緑色に変わります。

• **Disable UWF** (UWF を無効にする) - 統合書き込みフィルターを無効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスを再起動するように要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。統合書き込みフィルターを無効にした後は、デスクトップのタスクトレイの統合書き込みフィルターのステータスアイコンが赤色に変わり、統合書き込みフィルターはシステムの再起動後も無効のままとなります。

• **Defaults** (デフォルト) - UWF Cache Settings (UWF キャッシュ設定) 領域、および UWF Warning Settings (UWF 警告設定) 領域をリセットしてデフォルト値に設定します。

• File Commit (ファイルコミット) 領域

- **File Path** (ファイルパス) - 基盤となるメディアに対してファイルの追加、削除およびコミットを行えます。システムは Wyse Software Thin Client デバイスを再起動しません。変更はただちにコミットされます。

① **メモ:** ファイルがコミットされていない場合は、リストからファイルパスを削除します。

- **Current Session Exclusion List (現在のセッションの除外リスト)**

- **File/Directory Path (ファイル / ディレクトリパス) -**

次のセッションに対する、除外リストへのファイルやフォルダの追加と削除が行えます。Current Session Exclusion List (現在のセッションの除外リスト) と表示されているペインに列挙されているファイルやディレクトリは、現在のセッションでの更新内容が維持されます。Next Session Exclusion List (次のセッションの除外リスト) と表示されるペインに列挙されるファイルやディレクトリは、次のセッションにて更新された内容が維持される対象です。システムは Wyse Software Thin Client を再起動せず、管理者が Wyse Software Thin Client デバイスを手動で再起動するまで変更はコミットされません。

NetXClean ユーティリティ

NetXClean ユーティリティ : NetXClean は、不要な情報をローカルディスクに格納しないようにするクリーンアップユーティリティです。複数ユーザーがシステムへのログオン権限を保有している場合、ディスクスペースはローカルに格納されたプロファイルによって使用されます。NetXClean を使用して、情報の一時的なキャッシュに使用されるディレクトリの自動クリーンアップを実行できます。クリーンアップはサービスの起動またはユーザーのログオフのいずれかで実行されます。クリーンアップはユーザーの目に見えず、完全に設定可能です。

NetXClean にはサービスとして実行するように Windows ユーティリティが組み込まれています。また、設定ファイルを使用して、消去するディレクトリとファイルと消去しないプロファイルを判断するスタンドアロンユーティリティです。このユーティリティは以下を実行するように設定できます。

- 任意の数のディレクトリとその内容を削除
- 任意の数のディレクトリの内容だけを削除
- 明示的に宣言した任意の数のファイルを削除
- ワイルド文字ファイル名に一致する、任意の数のファイルを削除
- いずれかのプロファイルを消去しないようにする
- 任意の数の明示的に宣言したプロファイルを消去しないようにする
- 任意の数の最近使用したプロファイルを消去しないようにする
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するディレクトリのクリーンアップを実行する
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するファイルクリーンアップを実行する
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するプロファイルクリーンアップを実行する

NetXClean では、次のディレクトリ、またはこれらのディレクトリの親ディレクトリはクリーンアップしません。

- Windows ディレクトリ
- Windows システムのディレクトリ
- サービスがインストールされている現在のディレクトリ

NetXClean は以下のプロファイルを消去しません。

- 管理者
- skinnynt
- totalcontrol
- Default_User
- Default_user
- 前回ログオンしたユーザーのプロファイル

① **メモ:**

- NetXClean の消去する項目は、メーカーによって選択されているため、無断で変更しないでください。
- NetXClean ユーティリティには、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) との依存関係はありません。

複数のユーザープロファイルを対象とする NetXClean ユーティリティのワークフロー

NetXClean ユーティリティは、システムで複数のユーザープロファイルを設定した場合にユーザープロファイルをクリーンアップするのに役立ちます。これは、ユーザープロファイルへのログインまたはログオフを行う場合に適用されます。標準的なユーザーシナリオは次のとおりです。

- 1 管理者としてログインします。
- 2 C:\Windows\System32\netxclean.ini に、NetXClean ユーティリティで実行させるプロファイル固有の値を指定します。

これらの値は、ログオフし、ユーザープロファイルにログインした後に NetXClean ユーティリティによって認識されます。

システムの再起動またはハード再起動を実行する場合、ユーザープロファイルに対する NetXClean ユーティリティ機能は再起動後は適用されないため、プロファイル固有の値は認識されません。

詳細については、「[Dell Knowledge Base](#)」(Dell ナレッジベース) を参照してください。

C-A-D ツール

C-A-D ツールを使用すると、管理者は、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del 画面を表示するようにマッピングできます。C-A-D ツールが有効になっている場合、すべての VDI アプリケーションに Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを使用できます。

以下に、C-A-D ツールでサポートされる各種の VDI アプリケーション用にマップされているキーを示します。

- Citrix - Ctrl+F1
- VMware - Ctrl+Alt+Insert
- RDP - Ctrl+Alt+End

① **メモ: C-A-D ツールは、Citrix セッション内の Xen デスクトップでは機能せず、Citrix Xen アプリケーションでのみ動作します。**

C-A-D ツールは、デフォルトで無効に設定されています。C-A-D ツールを有効にするには、次の操作を行います。

- 1 WyseAdmin としてログインします。
- 2 **Dell Thin Client Application** (Dell Thin Client アプリケーション) をダブルクリックします。
- 3 **CAD Map** (CAD マップ) をクリックします。
- 4 **Enable** (有効化) チェックボックスをオンにして、**Apply** (適用) をクリックします。

Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録

次のいずれかの方法を使用して、Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録します。

- デバイスで Wyse Device Agent (WDA) によって提供されるユーザーインターフェースを介して手動で登録します。
- DHCP サーバで適切なオプションタグを設定して、自動的に登録します。
- DNS サーバで適切な DNS SRV レコードを設定して、自動的に登録します。

Wyse Device Agent のユーザーインターフェースを介した Wyse Software Thin Client の登録

前提条件

Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録するためにグループを作成します。Wyse Device Agent のユーザーインターフェースを介して Wyse Software Thin Client を登録するには、次の操作を行います。

手順

- 1 Wyse Software Thin Client で、**Wyse Device Agent (WDA)** アプリケーションを開きます。
Wyse Device Agent ウィンドウが表示されます。
- 2 **Management Server** (管理サーバ) ドロップダウンリストから、**Wyse Management Suite** を選択します。
- 3 サーバアドレスとポート番号をそれぞれのフィールドに入力します。
- 4 グループトークンを入力します。シングルテナントについては、グループトークンはオプションの手順です。
- 5 **Register** (登録) をクリックします。

登録が完了した後、**Registered to Wyse Management Suite** (Wyse Management Suite に登録されました) というメッセージが表示されます。

DNS SRV レコードを使用した Wyse Software Thin Client の登録

DNS SRV レコードのフィールドに有効な値が設定されている場合は、Wyse Management Suite サーバにデバイスを登録することができます。次の表に、DNS SRV レコードの有効な値を示します。

表 3. DNS SRV レコードの使用によるデバイスの設定

URL/ タグ	説明
レコード名 - <code>_WMS_MGMT</code> レコード FQDN - <code>_WMS_MGMT._tcp.<ドメイン名></code> レコードタイプ - SRV	このレコードは、Wyse Management Suite サーバ URL をポイントします。たとえば、 <code>wmserver.acme.com:443</code> であれば、 <code>wmserver.acme.com</code> は、Wyse Management Suite がインストールされているサーバの完全修飾ドメイン名です。 ① メモ: サーバの URL で <code>https://</code> を使用しないでください。使用すると、Thin Client が Wyse Management Suite の下に登録されません。
レコード名 - <code>_WMS_MQTT</code> レコード FQDN - <code>_WMS_MQTT._tcp.<ドメイン名></code> レコードタイプ - SRV	このレコードは、デバイスを Wyse Management Suite のプッシュ通知サーバ (PNS) にポイントします。プライベートクラウドのインストールについては、デバイスは Wyse Management Suite サーバ上の MQTT サービスに向けられます。例 : <code>wmservername.domain.com:1883</code> 。 ① メモ: MQTT は、最新バージョンの Wyse Management Suite では任意です。 デバイスを Wyse Management Suite のパブリッククラウドで登録するには、デバイスがパブリッククラウドで PNS (MQTT) サーバをポイントする必要があります。たとえば、次のとおりです。 US1 - <code>us1-pns.wysemanagementsuite.com</code> EU1 - <code>eu1-pns.wysemanagementsuite.com</code>
レコード名 - <code>_WMS_CAVVALIDATION</code> レコード FQDN - <code>_WMS_CAVVALIDATION._tcp.<ドメイン名></code>	プライベートクラウドでシステムに Wyse Management Suite がインストールされている場合、このレコードは必須です。パブリッククラウドでデバイスを Wyse Management Suite に登録する場合は、このオプションレコードを追加しないでください。

URL/ タグ	説明
レコードタイプ - テキスト	<p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしている場合は、True を入力します。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしていない場合は、False を入力します。</p> <p>① メモ: CA 検証は、最新バージョンの Wyse Management Suite では任意です。</p>

DHCP オプションタグの使用によるデバイスの登録

以下の DHCP オプションタグを使用して、デバイスを登録できます。

表 4. DHCP オプションタグの使用によるデバイスの登録

オプションタグ	説明
<p>名前 - WMS</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 165</p> <p>説明 - WMS サーバ FQDN</p>	<p>このタグは、Wyse Management Suite サーバ URL をポイントします。たとえば、wmserver.acme.com:443 であれば、wmserver.acme.com は、Wyse Management Suite がインストールされているサーバの完全修飾ドメイン名です。</p> <p>① メモ: サーバの URL で https:// を使用しないでください。使用すると、Thin Client が Wyse Management Suite の下に登録されません。</p>
<p>名前 - MQTT</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 166</p> <p>説明 - MQTT サーバ</p>	<p>このタグは、デバイスを Wyse Management Suite のプッシュ通知サーバ (PNS) にポイントします。プライベートクラウドのインストールについては、デバイスは Wyse Management Suite サーバ上の MQTT サービスに向けられます。例 : wmservername.domain.com:1883。</p> <p>デバイスを Wyse Management Suite のパブリッククラウドで登録するには、デバイスがパブリッククラウドで PNS (MQTT) サーバをポイントする必要があります。たとえば、次のとおりです。</p> <p>US1 - us1-pns.wysemanagementsuite.com</p> <p>EU1 - eu1-pns.wysemanagementsuite.com</p>
<p>名前 - CA 検証</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 167</p> <p>説明 - 認証局の検証</p>	<p>プライベートクラウドでシステムに Wyse Management Suite がインストールされている場合、このタグは必須です。パブリッククラウドでデバイスを Wyse Management Suite に登録する場合は、このオプションタグを追加しないでください。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしている場合は、True を入力します。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしていない場合は、False を入力します。</p>

Wyse Software Thin Client の設定

次の設定については、以下のセクションで説明されています。

- VMware Horizon Client の設定。「[VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続](#)」を参照してください。
- Citrix Receiver の設定。「[Citrix Receiver セッションサービスの設定](#)」を参照してください。
- リモートデスクトップ接続の設定。「[リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定](#)」を参照してください。
- Wyse Management Suite を使用した設定。「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定](#)」を参照してください。
- RAM ディスクのサイズの設定。「[RAM ディスクのサイズの設定](#)」を参照してください。

その他の機能の詳細については、dell.com/support/manuals にある、Windows Embedded Standard 7 Professional、Windows 10 IoT Enterprise、および Wyse Management Suite バージョン 1.1 以降の管理者ガイドを参照してください。

トピック：

- [VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続](#)
- [Citrix Receiver セッションサービスの設定](#)
- [リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定](#)
- [Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定](#)
- [RAM ディスクのサイズの設定](#)

VMware Horizon Client を使用した仮想デスクトップへの接続

VMware Horizon Client はローカルにインストールされるソフトウェアアプリケーションであり、View Connection Server と Thin Client オペレーティングシステム間の通信を実行します。Thin Client から一元的にホストされる仮想デスクトップへのアクセスを提供します。

前提条件

VMware セッションサービスは、VMware Horizon 6 以降をインストールした後に、ネットワーク上で使用可能な状態にできます。このサービスは、エンドユーザーに対して単一のプラットフォームを介して、仮想化 / ホストされたデスクトップおよびアプリケーションを提供します。

このタスクについて

仮想デスクトップに接続するには、**VMware Horizon Client** ウィンドウを使用します。

VMware Horizon Client ウィンドウを開いて使用するには、次の手順を実行します。

手順

- 1 ユーザーまたは管理者としてログインします。
- 2 次のいずれかのオプションを使用して、**VMware Horizon Client** ウィンドウにアクセスします。
 - **Start** (スタート) メニューで、**VMware > VMware Horizon Client** の順にクリックします。
 - デスクトップで **VMware Horizon Client** アイコンをダブルクリックします。

VMware Horizon Client ウィンドウが表示されます。

- 3 **VMware Horizon Client** ウィンドウでは、次のガイドラインを使用します。
 - a 新しいサーバ接続を追加するには、**VMware Horizon Client** ウィンドウで **New Server** (新規サーバ) オプションをクリックするか、**Add Server** (サーバの追加) アイコンをダブルクリックします。
VMware Horizon Client ダイアログボックスが表示されます。

- b **VMware Horizon Client** ダイアログボックスで、接続サーバのボックスに VMware Horizon Connection Server のホスト名または IP アドレスを入力します。
- c **Connect** (接続) をクリックします。
- d **Login** (ログイン) ダイアログボックスで、ユーザー名とログインパスワードをそれぞれのボックスに入力します。
- e **Domain** (ドメイン) ドロップダウンリストから、サーバが所属するドメインを選択します。
- f **Login** (ログイン) をクリックします。
VMware Horizon Client が、選択したデスクトップに接続します。接続の確立後、公開されているデスクトップのリストが表示されます。
- g 特定のアプリケーションまたはデスクトップのアイコンを右クリックしてから、**Launch** (起動) をクリックして選択したアプリケーションまたはデスクトップに接続します。

VMware Horizon Client の詳細については、www.vmware.com を参照してください。

① メモ:

証明書チェックモード - 証明書チェックモードでは、サーバへの接続が安全であることをクライアントが確認できない場合に、クライアントがどのような処理を行うべきかが決定されます。システム管理者の指示がない限り、この設定は変更しないことをお勧めします。

証明書チェックモードにアクセスするには、ウィンドウの右上隅にあるアイコンをクリックし、ドロップダウンリストから **Configure SSL** (SSL の設定) をクリックします。**VMware Horizon Client SSL configuration** (VMware Horizon Client の SSL 設定) ダイアログボックスで、必要に応じて次のいずれかのオプションを選択します。

- 信頼できないサーバに接続しません
- 信頼できないサーバに接続する前に、警告を表示します
- サーバ ID 証明を確認しません

Citrix Receiver セッションサービスの設定

Citrix Receiver は、ユーザーインタフェースからアプリケーションロジックを分離する、サーバベースのコンピューティングテクノロジーです。Thin Client デバイスにインストールされた Citrix Receiver クライアントソフトウェアを使用すると、すべてのアプリケーションプロセスがサーバ上で実行されている間にアプリケーション GUI と対話できます。

このタスクについて

Citrix Receiver セッションを設定するには、次の操作を行います。

手順

- 1 管理者としてログインします。
 - 2 次の方法のいずれかを使用して Citrix サーバにアクセスします。
 - **Start** (スタート) メニューで、**Citrix Receiver** をクリックします。
 - デスクトップで **Citrix Receiver** アイコンをダブルクリックします。
- Citrix サーバへのログイン後、**Add Account** (アカウントの追加) ウィンドウが表示されます。
- 3 **Add Account** (アカウントの追加) ウィンドウで、サーバ IP アドレスを入力します。
 - 4 **Next** (次へ) をクリックします。
 - セキュアな接続には、完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。
 - 非セキュアな接続には、IP アドレスを入力します。
 - 5 ユーザーの資格情報を入力し、**Log on** (ログオン) をクリックします。
IP アドレスを入力することでアカウントの追加が可能になり、Citrix Receiver の詳細を表示することができます。
 - 6 **Yes** (はい) をクリックしてから **Next** (次へ) をクリックします。
Citrix Receiver の仮想デスクトップが表示されます。
 - 7 仮想デスクトップウィンドウで、**Add Apps (+)** (アプリケーションの追加 (+)) > **All Applications** (すべてのアプリケーション) の順に移動します。
アプリケーションのチェックボックスをオンまたはオフにすることができます。選択したアプリケーションが仮想デスクトップに表示されます。
 - 8 仮想デスクトップで、**Settings** (設定) をクリックして、サーバのアカウントを更新、追加または削除して、ログオフします。

リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定

前提条件

リモートデスクトップ接続は、グラフィカルインタフェースを提供するネットワークプロトコルであり、ネットワーク接続を経由して別のコンピュータへの接続を確立します。

手順

- 1 ユーザーまたは管理者としてログインします。
- 2 **Start** (スタート) メニューで、**Remote Desktop Connection** (リモートデスクトップ接続) をクリックするか、またはデスクトップの **Remote Desktop Connection** (リモートデスクトップ接続) アイコンをダブルクリックします。
Remote Desktop Connection (リモートデスクトップ接続) ウィンドウが表示されます。
- 3 **Computer** (コンピュータ) ボックスに、コンピュータ名またはドメイン名を入力します。
- 4 詳細設定オプションについては、**Show Options** (オプションを表示) をクリックします。
 - a **General** (全般) タブでは、ログイン資格情報の入力、既存の RDP 接続の編集または開始、新規の RDP 接続ファイルの保存などを行います。
 - b **Display** (ディスプレイ) タブでは、リモートデスクトップのディスプレイと画面の色を管理します。
 - スライダーを動かして、リモートデスクトップのサイズを拡大または縮小します。全画面表示するには、スライダーを右方向いっぱいに動かします。
 - ドロップダウンリストから、リモートデスクトップの画面の色を希望に応じて選択します。
 - **Display the connection bar when I use the full screen** (全画面表示時に接続バーを表示する) チェックボックスをオンまたはオフにして、全画面モードで接続バーを表示または非表示にします。
 - c **Local Resources** (ローカルリソース) タブで、リモートデスクトップのオーディオ、キーボード、またはローカルデバイス / リソースの設定を行います。
 - リモートオーディオ セクションで、**Settings** (設定) をクリックして詳細なオーディオ設定オプションを選択します。
 - **Keyboard** (キーボード) セクションで、キーボードの組み合わせを適用する場合と場所を選択します。
 - **Local devices and resources** (ローカルデバイスとリソース) セクションでは、リモートセッションで使用するデバイスとリソースを選択します。その他のオプションについては、**More** (詳細) をクリックします。
 - d **Experience** (エクスペリエンス) タブで、接続品質に基づいてリモートセッションのパフォーマンスを最適化します。
- ① **メモ:**
統合書き込みフィルターのキャッシュがいっぱいである場合、ウィンドウの **Show Options** (オプションの表示) をクリックしてから **Experience** (エクスペリエンス) タブのビットマップキャッシングを無効にできます。
- e **Advanced** (詳細設定) タブで、サーバが認証に失敗した場合に実行するアクションを選択し、リモートゲートウェイを経由する接続の設定を行います。
- 5 **Connect** (接続) をクリックします。
- 6 リモートセッションに接続するには、**Security** (セキュリティ) ダイアログボックスにログイン資格情報を入力します。
リモートデスクトップが表示され、**Display the connection bar** (接続バーを表示する) を選択した場合は上部に接続バーが表示されます。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定

Wyse Converter for PCs を使用してデバイスが Wyse Software Thin Client に変換される場合は、Wyse Management Suite 1.1 以降のバージョンを使用して Thin Client を設定できます。Wyse Software Thin Client を設定するには、デバイスを Wyse Management Suite に登録する必要があります。

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 ダッシュボードの **Groups & Configs** (グループ & 設定) をクリックします。

- 3 グループを選択し、**Edit Policies** (ポリシーの編集) をクリックします。
- 4 **Wyse Software Thin Client** をクリックします。

Wyse Software Thin Client ページが表示されます。

- 5 オプションの設定後、**Save and Publish** (保存して公開) をクリックします。

Wyse Software Thin Client の登録と Wyse Management Suite を使用したポリシーの設定の詳細については、dell.com/support/manuals にある『*Wyse Management Suite 1.1 Administrator's Guide*』(Wyse Management Suite 1.1 管理者ガイド) を参照してください。

RAM ディスクのサイズの設定

このタスクについて

RAM ディスクは、一時的なデータの保存場所として使用される揮発性メモリです。

RAM ディスクには通常、次の項目が保存されます。

- ブラウザの Web ページのキャッシュ
- ブラウザ履歴
- ブラウザの Cookie
- ブラウザのキャッシュ
- インターネット一時ファイル
- 印刷スプール
- ユーザーおよびシステムの一時ファイル

RAM ディスクのサイズを設定するには、次の操作を行います。

手順

- 1 管理者としてログインします。
- 2 **Start** (スタート) > **Dell Thin Client Application** (Dell Thin Client アプリケーション) の順に移動します。
Dell Thin Client Application (Dell Thin Client アプリケーション) ウィンドウが表示されます。
- 3 左のナビゲーションバーで、**RAM Disk** (RAM ディスク) をクリックします。
- 4 **RAM disk size** (RAM ディスクのサイズ) フィールドで、設定する RAM ディスクのサイズを入力または選択し、**Apply** (適用) をクリックします。
RAM ディスクのサイズを変更した場合、変更を有効にするにはシステムを再起動するよう求められます。

① メモ:

情報を永久的に保存するには、統合書き込みフィルター (Unified Write Filter (UWF)) を無効にしてください。詳細については、「[Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)」を参照してください。

Wyse Converter for PCs ライセンス

Wyse Converter for PCs には、45 日間の試用版ライセンスを提供しています。試用版を使用して、PC を Thin Client のようなエクスペリエンスに変換して、ロックダウン機能をテストし、Wyse Management Suite を使用して Wyse Software Thin Client を設定できます。45 日の試用期間は、Wyse Converter for PCs をご使用の PC にインストールした日から開始されます。Wyse Converter for PCs 試用版に登録したときに入力した電子メールを介して、Wyse Converter for PCs および Wyse Management Suite をダウンロードする手順と、ライセンスキーを取得する方法の詳細について提供します。

① **メモ:** 試用期間中は、常時 25 デバイスを登録および管理することができます。

試用期間の終了後：

- Wyse Management Suite サーバを介したアップグレードはできません。
- 管理者は、Wyse Management Suite オンプレミス サーバを使用して、既存のデバイスを引き続き管理できます。
- 新しい Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に追加することはできません。

Wyse Device Agent が Wyse Management Suite サーバと通信した後、アップデートされたライセンス情報がインポートされ、ローカルストアがアップデートされます。

45 日後、Wyse Management Suite ライセンスをインポートまたはアップデートすることにより、Wyse Converter for PCs を使用し続けることができます。「[Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード](#)」を参照してください。

Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード

Wyse Management Suite ライセンスをプライベートクラウドにインポートするには、次のいずれかの操作を行います。

方法 1

- Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバにログインします。
- Portal Administration (ポータル管理) > Account (アカウント) > Subscription (サブスクリプション) > Import License (ライセンスのインポート)** の順に移動します。
- ユーザー名とパスワードを入力します。
- Data Center (データセンター)** ドロップダウンリストから、データセンターを選択します。
- 追加する Wyse Software Thin Client シートまたはデバイス数を入力し、**Import (インポート)** をクリックします。

① **メモ:** ライセンスをインポートするには、Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバをパブリッククラウドに接続する必要があります。

方法 2

- Wyse Management Suite パブリッククラウドサーバにログインします。
- Portal Administration (ポータル管理) > Account (アカウント) > Subscription (サブスクリプション) > Export License For Private Cloud (プライベートクラウドのライセンスのエクスポート)** の順に移動します。
- エクスポートする Wyse Software Thin Client シートの数を入力します。
- Export (エクスポート)** をクリックします。
- 生成されたライセンスをコピーします。
- Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバにログインします。

- g **Portal Administration (ポータル管理) > Account (アカウント) > Subscription (サブスクリプション) > Import License (ライセンスのインポート)** の順に移動します。
- h 生成されたライセンスを入力します。
- i **Import (インポート)** をクリックします。

① **メモ:** www.wysemanagementsuite.com で **Wyse Management Suite** の試用版に登録するか、サブスクリプションを購入すると、ログイン資格情報を受け取ります。**Wyse Management Suite** サブスクリプションは、デルの営業チームまたはローカルのデルパートナーから購入できます。詳細については、www.wysemanagementsuite.com を参照してください。

有効なライセンスを割り当てるには、デバイスを Wyse Management Suite に追加して登録する必要があります。「[Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録](#)」を参照してください。

パブリッククラウドから Wyse Management Suite のライセンスを評価版から実稼働版にアップグレードするには、デルの営業チームまたはローカルのデルパートナーに連絡してください。Wyse Management Suite ライセンスがアップグレードされた後は、デバイスを管理するために、以前と同様の資格情報で管理者として Wyse Management Suite ポータルにログインすることができます。

パブリッククラウドアカウントからプライベートクラウドにライセンスをエクスポートして、プライベートクラウド上のライセンスをアップグレードすることができます。プライベートクラウド上にライセンスをインポートするには、次のいずれかの操作を行います。

- **Portal Administration (ポータル管理) > Subscription (サブスクリプション)** の順に移動し、**Import License (ライセンスのインポート)** セクションに詳細を入力して、**Import (インポート)** をクリックします。
- **Portal Administration (ポータル管理) > Subscription (サブスクリプション)** の順に移動し、**Import License (ライセンスのインポート)** セクションにライセンスキーを入力して、**Import (インポート)** をクリックします。

詳細については、dell.com/support/manuals で『*Wyse Management Suite 1.1 Administrator's Guide*』(Wyse Management Suite 1.1 管理者ガイド) を参照してください。

アンインストール方法

次のいずれかの方法を使用して Wyse Converter for PCs をアンインストールできます。

- リモートアンインストール - 「[Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする](#)」を参照してください。
- ローカルアンインストール - 「[Wyse Converter for PCs をローカルでインストールする](#)」を参照してください。

① **メモ:** Wyse Converter for PCs インストール中にインストールされる .NET Framework、Microsoft Visual C++ Redistributable、Windows Management Framework、Citrix Receiver、および VMware Horizon Client は Wyse Converter for PCs のアンインストール時には削除されません。

トピック：

- [Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする](#)
- [Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする](#)

Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする

次のいずれかの方法を使用してリモートで Wyse Converter for PCs をアンインストールできます。

- サードパーティの管理ソフトウェアの使用 - 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール](#)」を参照してください。
- Wyse Management Suite の使用 - 「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール](#)」を参照してください。

サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのサードパーティの管理ソフトウェアを使用して Wyse Converter for PCs をアンインストールすることができます。

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 **Software Library (ソフトウェアライブラリ) > Overview (概要) > Application Management (アプリケーション管理) > Applications (アプリケーション)** の順に移動します。
- 3 **Applications (アプリケーション)** を右クリックして、**Create Application (アプリケーションの作成)** をクリックします。
Create Application Wizard (アプリケーションの作成ウィザード) ウィンドウが表示されます。
- 4 **General (全般)** ページで、**Manually specify the application information (アプリケーションの情報を手動で指定する)** をクリックします。
- 5 **Next (次へ)** をクリックします。
- 6 **General Information (一般情報)** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**Next (次へ)** をクリックします。
- 7 **Application Catalog (アプリケーションカタログ)** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
- 8 **Deployment Types (展開の種類)** ページで、**Add (追加)** をクリックして、展開の種類を作成します。
Create Deployment Type Wizard (展開の種類の作成ウィザード) ウィンドウが表示されます。

- 9 **General** (全般) ページで、**Manually specify the deployment type information** (展開の種類を指定する) をクリックします。
- 10 **Next** (次へ) をクリックします。
- 11 **General Information** (一般情報) ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**Next** (次へ) をクリックします。
- 12 **Content** (コンテンツ) ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
- 13 **Installation program** (インストールプログラム) フィールドに、uninstaller_WyseConverterForPCs.exe と入力します。
- 14 **Detection Method** (検出方法) ページで、**Setting Type** (設定の種類) を **File System** (ファイルシステム) として選択し、**Path** (パス) フィールドに drive C:\Windows\Setup\Logs\UninstallWyseConvertor.log と入力します。
- 15 種類およびファイルまたはフォルダ名を指定し、**OK** をクリックします。
- 16 **Next** (次へ) をクリックします。
- 17 **User Experience**(ユーザーエクスペリエンス) ページで、**Installation behavior**(インストールの動作) ドロップダウンリストから **Install for system if resource is device; otherwise install for user**(リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする) を選択します。
- 18 **Logon requirement** (必要なログオン状態) ドロップダウンリストから、**Whether or not a user is logged on** (ユーザーのログオン状態に関係なし) を選択します。
- 19 **Installation program visibility** (インストールプログラムの表示) ドロップダウンリストから、**Hidden** (非表示) を選択します。
- 20 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**Next** (次へ) をクリックします。
- 21 **Requirements** (要件) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
- 22 **Dependencies** (依存関係) ページで、**Next** (次へ) をクリックします。
- 23 **Summary** (概要) ページには、設定の概要が表示されます。
- 24 **Close** (閉じる) をクリックします。
- 25 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「*Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager*」(Configuration Manager のコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 **Apps & Data** (アプリとデータ) をクリックします。
- 3 **App Policies** (アプリポリシー) 下で **Wyse Software Thin Client** をクリックします。
- 4 **Add Policy** (ポリシーの追加) をクリックします。
Add Standard App Policy (標準アプリポリシーの追加) ウィンドウが表示されます。
- 5 **dd Standard App Policy** (標準アプリポリシーの追加) ウィンドウで、次の操作を行います。
 - **Group** (グループ) ドロップダウンメニューから、Wyse Software Thin Client の登録先のグループを選択します。
 - **Task** (タスク) ドロップダウンメニューから、**Uninstall Application** (アプリケーションのアンインストール) を選択します。
 - **OS type** (OS タイプ) ドロップダウンメニューから、**Wyse Software Thin Client** を選択します。
 - **Application** (アプリケーション) ドロップダウンメニューから **Uninstaller_WyseConverterForPCs.exe** を選択します。
- 6 **Save** (保存) をクリックします。
- 7 **Jobs** (ジョブ) ページに移動し、Wyse Converter for PCs のサイレントアンインストールを開始するようにジョブをスケジュールします。

Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする

前提条件

- 書き込みフィルターが無効になっている必要があります (Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ)。

- Wyse Converter for PCs をインストールする前に、使用可能な管理者アカウントから Wyse Converter for PCs をアンインストールする必要があります。

手順

- 1 **Control Panel** (コントロールパネル) に移動し、**Programs and features** (プログラムと機能) をクリックします。
- 2 プログラムのリストから、**Wyse Converter for PCs** を選択します。
- 3 **Uninstall** (アンインストール) をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 4 **Yes** (はい) をクリックします。

アンインストールが完了すると、**Uninstallation Complete** (アンインストールの完了) メッセージが表示されます。

- ① **メモ:** Wyse Converter for PCs 実行ファイルをダブルクリックして、Wyse Converter for PCs をアンインストールすることもできます。また、管理者としてログインし、コマンドプロンプトを実行して、`uninstaller_WyseConverterForPCs.exe` を入力することもできます。サイレントパラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。

Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング

このセクションでは、Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング情報を提供します。

- 問題 - インストールが前提条件のチェック中に停止します。

解決策 - Wyse Converter for PCs をインストールするための前提条件を満たしていることを確認します。「[前提条件](#)」を参照してください。ログは、現在のユーザーの一時的な場所（%temp%）で入手できます。

- 問題 - 選択したアプリケーションがインストールに失敗する場合に、インストールが停止します。

解決策 - ログファイル `InstallWyseConverter.log` または `UninstallWyseConverter.log` を表示して、詳細なエラーログレポートを確認します。

- 問題 - インストール中にロックダウンスクリプトが失敗します。

解決策 - 詳細なエラーログについて、drive C:/Windows/setup/logs にあるログファイル `Appsinstall.log`、`InstallMon.log`、`UninstallWyseConverter.log` を表示します。

- 問題 - 有効なライセンスを購入した後で、ライセンスの画面が WyseUser デスクトップに表示されません。

解決策 - Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録していることを確認します。

- 問題 - ロックダウン展開中に自動ログオンが失敗します。

解決策 - パスワードに \ / ` ' , ~ : ; * ? " & ^ などの特殊文字が含まれていないことを確認します。現在のインストールを続行する場合は、展開ステージで使用されたパスワードを入力します。